

1984 (毎月1回発行)
11月号

(村の面積)

332.60km²

発行所 福井県大野郡和泉村

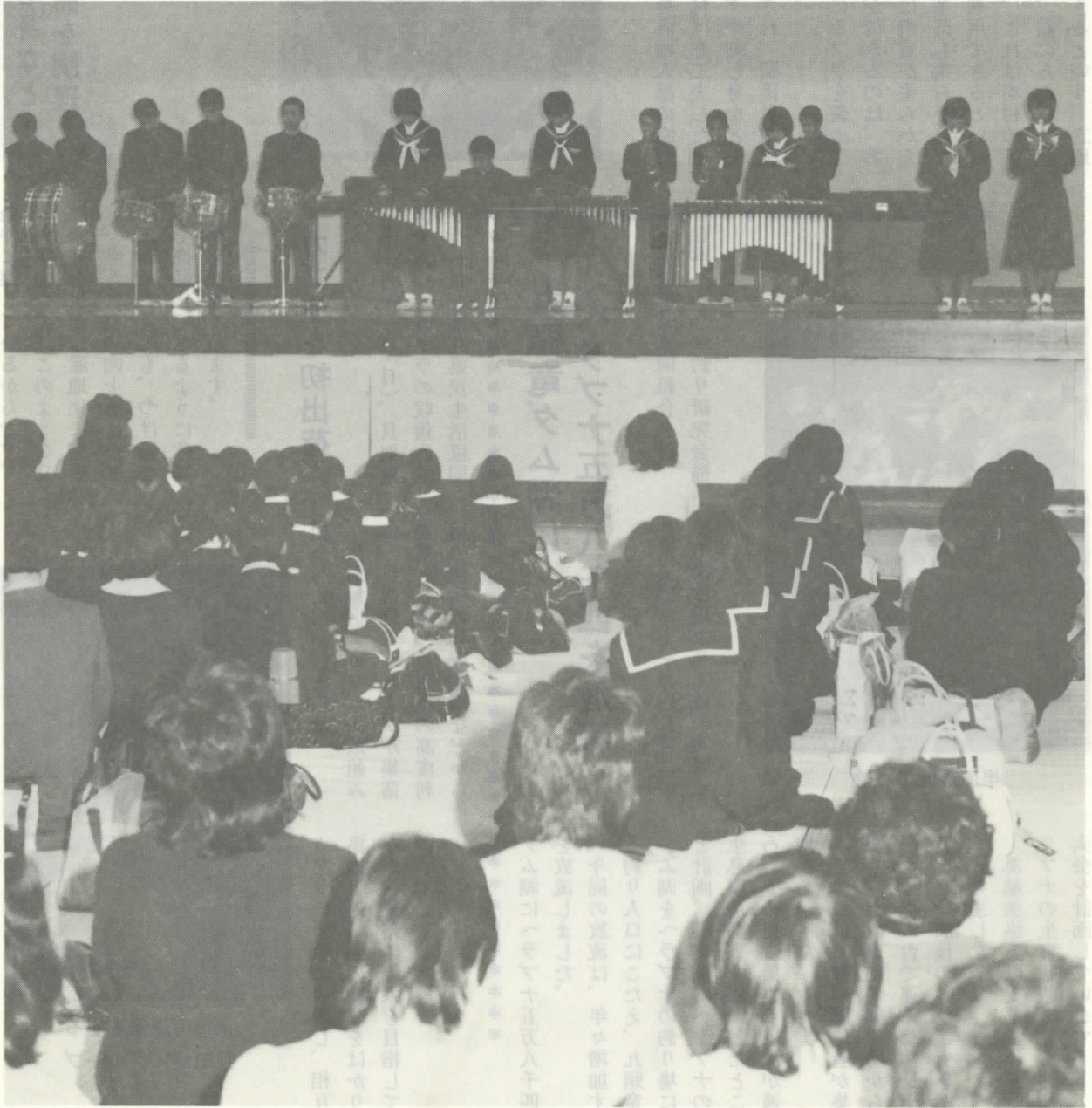
広報 いずみ

(昭和59年11月1日現在)

村の人口

総人口	1,283人 (-5)
男	647人 (-2)
女	636人 (-3)
出生	1人
死亡	0人
転入	2人
転出	8人
世帯数	413世帯 (-4)

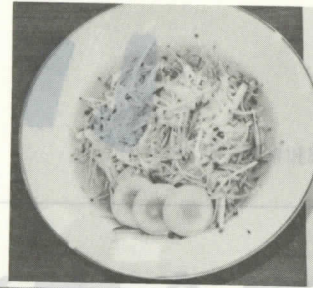
連合音楽会を開催



みんなで越美北線を利用しよう。

あなまカブラの特産化を目指し

カブのサラダ



カブラのサラダや刺し身など

16品を調理



カブ刺し身

「あなまカブラ」を使った料理試食会が十一月六日(火)山村開発センターで開かれま

した。この試食会は林産物生産促進組合が地場産業振興事業として、古くから本村で栽培されているカブラを自家消費から商品として広く宣伝し、特産に育てていこうということから、カブラの調理方法を村内外の人に知ってもらったため行われました。

この日は農協婦人部の協力を得て、味付けを工夫したカブラのサラダや刺し身など十六品が調理され、関係者が試食しました。

このようにカブラを使って多くの調理ができるのは、あなまカブラは肉質が柔らかく甘味で、葉茎部も柔らかいためすべてが利用できるという特色があり、これは本村の気候が作用し、霜にあたるほど良い物ができるという、立地

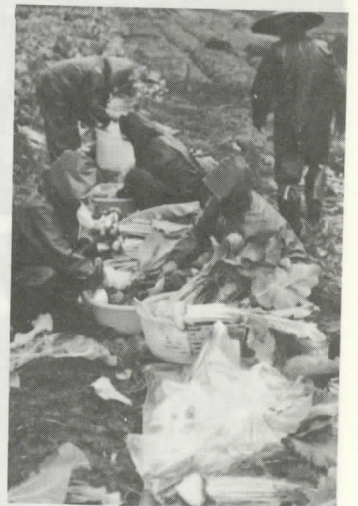
条件に適しているからです。生産組合ではこのような立地条件を生かし産地化に着手し、さらに質の向上をはかり加工商品としても、つけ物などを商品化できるように体制作りを進めています。

カブラを初出荷

十一月十一日(日)、貝皿地区であなまカブラの収穫作業が行われ、福井県民生活協同

組合へ初出荷しました。

貝皿地区のカブラの取組みは、貝皿婦人グループが集落農業として、農用地の高度利用や機械の効率利用などから



出荷の準備をする貝皿婦人グループ

カブラの生産に着手し、相互協力と連帯感の養成をはかりながら集落の繁栄を目指しています。

九頭竜ダム湖に

ヘラブナ五万八千匹を放流

奥越漁業協同組合と村、日本ヘラブナ釣り研究会福

井県支部は十一月四日(日)、夢の掛け橋より上流の九頭竜

ダム湖にヘラブナ五万八千匹を放流しました。

今回の放流は、年々増加する釣り人口にこたえ、九頭竜ダム湖をヘラブナの釣り場にと計画。県支部にヘラブナの生息環境調査を依頼したところ、夢の掛け橋より上流が適地とわかった。

この日は多数の関係者が集まり、大阪市内の養魚場からトラック二台で運んだ体長十五センチ前後のヘラブナを湖へ放ちました。

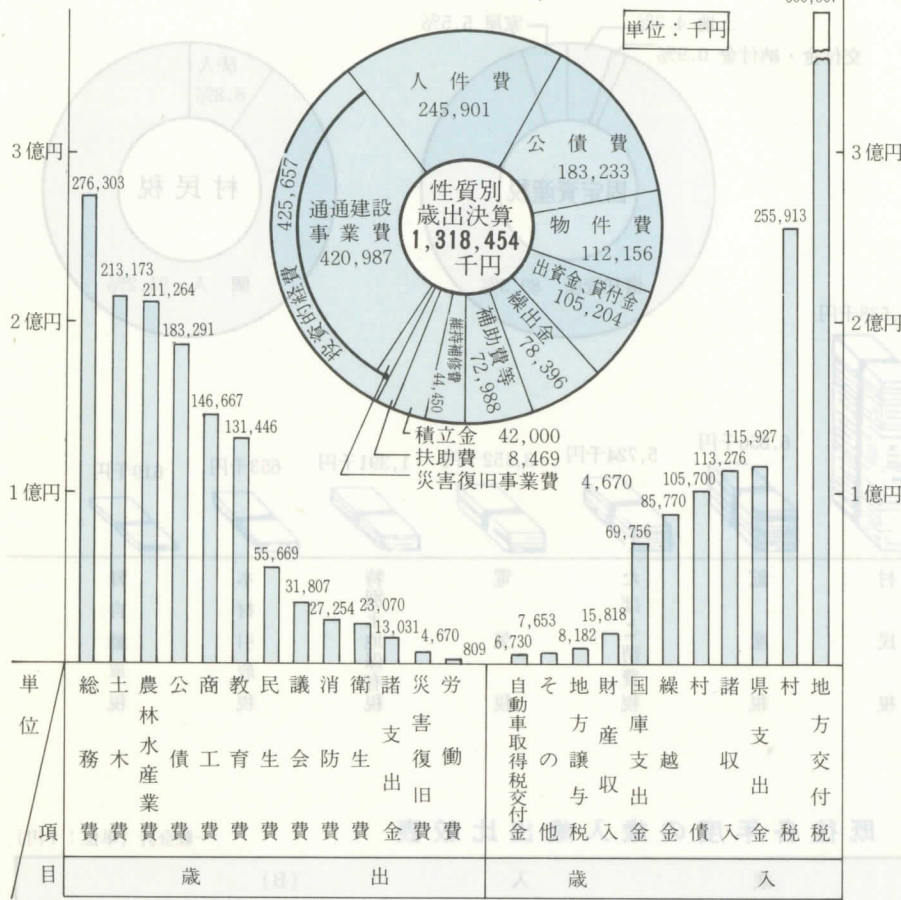
奥越漁協と県支部では、ヘラブナの生育状態を見て釣り大会を計画しています。



半原地区で放流

58年度一般会計決算状況

歳入決算額 1,385,292千円
 歳出決算額 1,318,454千円
 歳入歳出差引残額 66,838千円



財政事情の公表

村財政事情の作成および公表に関する条例の定めるところにより村の財政事情を公表します。

今回は、五十八年度決算と五十九年度上半期の財政運営状況のあらましを説明します。

この財政事情は村民の皆さま

五十九年十一月一日
 村長 新井一雄

今後は、五十八年度決算と五十九年度上半期の財政運営状況のあらましを説明します。

一層のご協力をお願いします。

今後とも、村政発展のため

十分に認識していただくものであります。

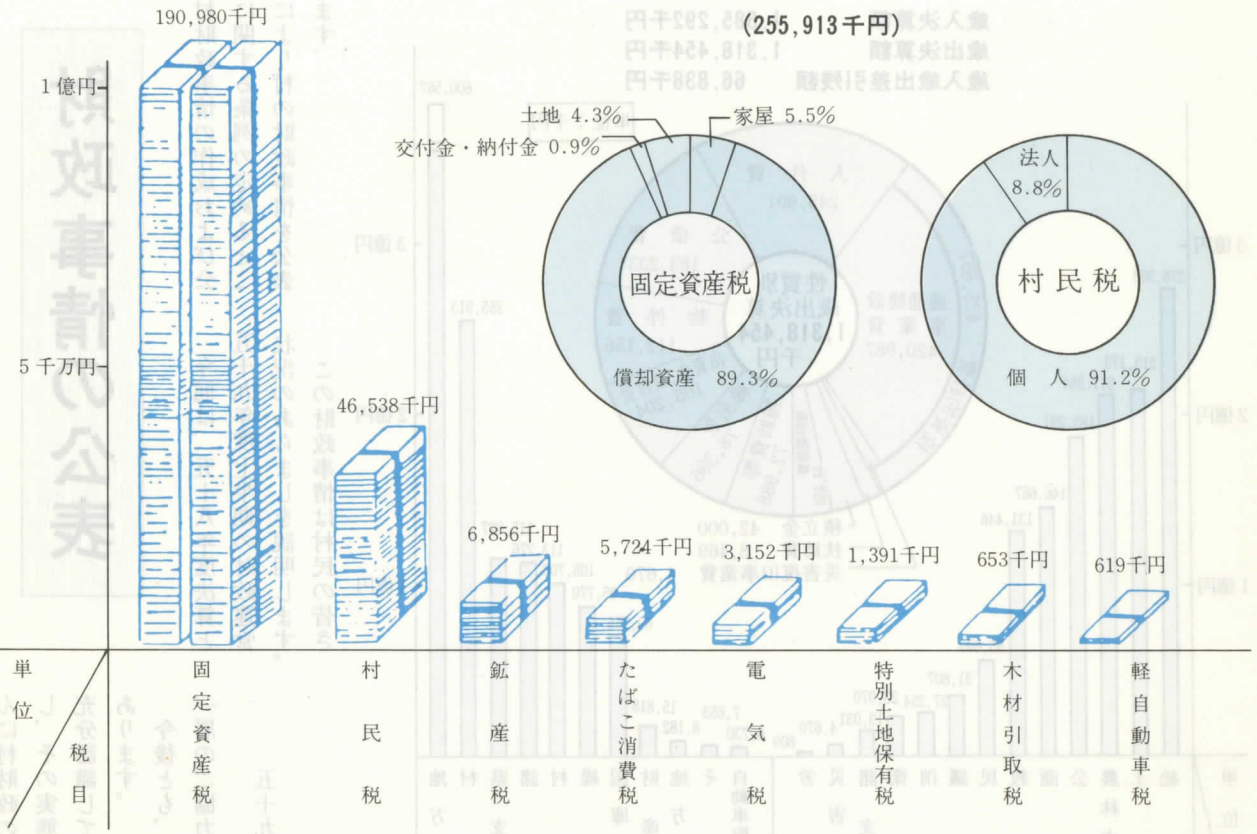
んに村財政の現況をお知らせし、その実態と村政の動きを

58年度会計別決算総括表

(単位：円)

会計名	区分	予算額	決算額	予算額に対する決算額の比較増減額	予算額に対する決算額の比率(%)
一般会計	歳入	1,383,076,000	1,385,292,164	2,216,164	100.2
	歳出	1,383,076,000	1,318,454,185	△ 64,621,815	95.3
	差引残額	0	66,837,979	翌年度へ繰越	
簡易水道事業特別会計	歳入	9,911,000	9,937,098	26,098	100.3
	歳出	9,911,000	9,516,897	△ 394,103	96.0
	差引残額	0	420,201	翌年度へ繰越	
国民健康保険事業特別会計	歳入	47,210,000	48,865,623	1,655,623	103.5
	歳出	47,210,000	42,675,702	△ 4,534,298	90.4
	差引残額	0	6,189,921	翌年度へ繰越	
診療所事業特別会計	歳入	24,512,000	24,056,455	△ 455,545	98.1
	歳出	24,512,000	23,030,241	△ 1,481,759	94.0
	差引残額	0	1,026,214	翌年度へ繰越	
農業共済事業特別会計	歳入	7,761,000	7,804,194	43,194	100.6
	歳出	7,761,000	7,250,937	△ 510,063	93.4
	差引残額	0	553,257	翌年度へ繰越	
国民休養地事業特別会計	歳入	110,096,000	110,102,189	6,189	100.0
	歳出	110,096,000	100,393,118	△ 9,702,882	91.2
	差引残額	0	9,709,071	翌年度へ繰越	
老人医療事業特別会計	歳入	41,219,000	42,680,784	1,461,784	103.5
	歳出	41,219,000	39,001,014	△ 2,217,986	94.6
	差引残額	0	3,679,770	翌年度へ繰越	

村 税 の 収 入 状 況



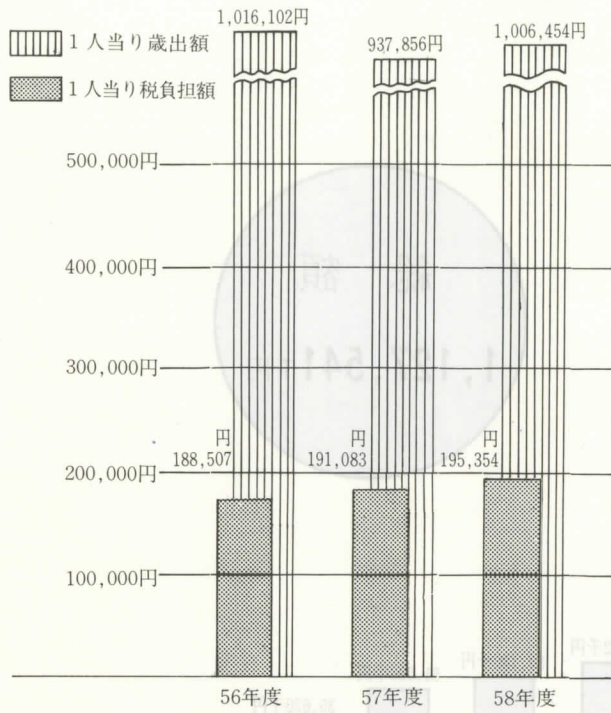
既往各年度の歳入歳出比較表

一般会計 (単位: 千円)


年 度	予 算 額 (A)	歳 入 (B)										計 金 額	B A
		一 般 財 源				税 外 収 入							
		税 収 入		地 方 交 付 税		地 方 債		国(県)支 出 金		そ の 他			
金 額	%	金 額	%	金 額	%	金 額	%	金 額	%				
54	1,088,746	282,048	25.4	410,339	36.9	139,200	12.5	210,825	19.0	69,692	6.2	1,112,104	102.2
55	1,384,929	285,225	21.1	493,383	36.5	188,200	13.9	192,650	14.3	192,430	14.2	1,351,888	97.6
56	1,490,863	283,193	18.5	546,070	35.8	195,200	12.8	277,307	18.2	223,044	14.7	1,524,814	102.3
57	1,351,356	273,865	20.1	598,059	43.9	102,800	7.6	219,387	16.1	167,143	12.3	1,361,254	100.7
58	1,383,076	270,825	19.6	600,567	43.3	105,700	7.6	185,683	13.4	222,517	16.1	1,385,292	100.2

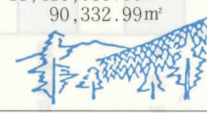


年 度	予 算 額 (A)	歳 出 (B)						計 金 額	B A	歳入歳出差引
		経 常 費		臨 時 費		計				
		金 額	%	金 額	%	金 額	B A			
54	1,088,746	462,078	44.0	587,900	56.0	1,049,978	96.4	62,127		
55	1,384,929	513,115	41.5	723,670	58.5	1,236,785	89.3	115,103		
56	1,490,863	539,027	37.2	910,951	62.8	1,449,978	97.3	74,836		
57	1,351,356	569,431	44.7	706,053	55.3	1,275,484	94.4	85,770		
58	1,383,076	577,000	43.8	741,454	56.2	1,318,454	95.3	66,838		

村民1人当り税負担額と歳出額の年度別比較



村民1人当りおよび1世帯当りの税負担額

1世帯当り  (426世帯)	村税負担額	1人当り  (1,310人)
109,244円	村民税	35,525円
448,310円	固定資産税	145,786円
1,453円	軽自動車税	473円
13,437円	たばこ消費税	4,369円
7,399円	電気税	2,406円
16,094円	鉱産税	5,234円
1,533円	木材引取税	498円
3,265円	特別土地保有税	1,062円
600,735円	計	195,353円


建物延べ 19,721.74㎡ 宅地 18,057.10㎡ 	山林 11,416,066.00㎡ その他 90,332.99㎡ 	有価証券 1,460千円 
公有財産の状況 昭和59年3月31日現在		
基金 財政調整基金 220,350,000円 村有林造林基金 8,000,000円 国民年金印紙購入基金 200,000円 住宅資金貸付基金 52,700,000円 減債基金 100,000,000円 高額療養費貸付基金 2,000,000円 	出資金 9,729千円 	自動車 13台 ダンプ・トラック 1台 マイクロバス 1台 除雪機 7台 

58年度 特別会計決算の状況


簡易水道事業	
歳入	9,937,098円
歳出	9,516,897円
歳入歳出差引	420,201円
給水世帯	264世帯
給水人口	790人



農業共済事業	
歳入	7,804,194円
歳出	7,250,937円
歳入歳出差引	553,257円
引受戸数	81戸
引受面積	1,917 a
引受数量	45,766kg



国民健康保険事業	
歳入	48,865,623円
歳出	42,675,702円
歳入歳出差引	6,189,921円
被保険者数	263人
1人当り保険税	44,361円
1人当り療養費	109,595円

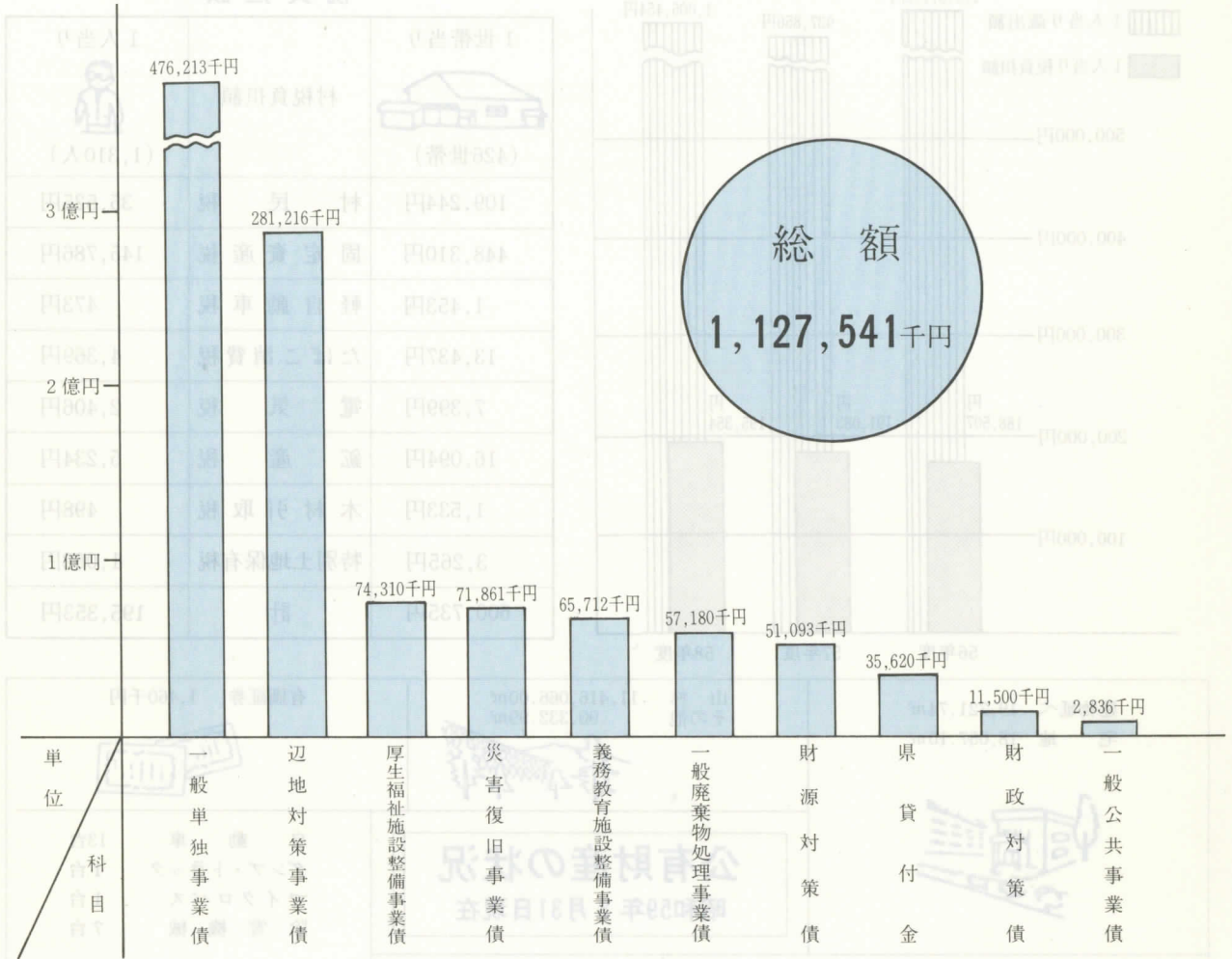


診療所事業	
歳入	24,056,455円
歳出	23,030,241円
歳入歳出差引	1,026,214円
病床	一般6床
診療所数	一般1、歯科1

老人医療事業	
歳入	42,680,784円
歳出	39,001,014円
歳入歳出差引	3,679,770円

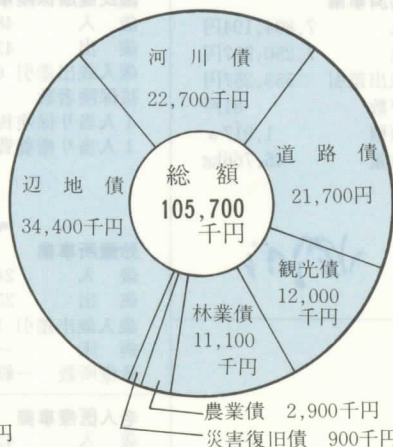
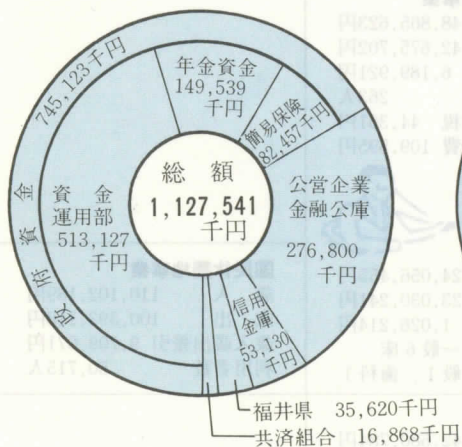
国民休養地事業	
歳入	110,102,189円
歳出	100,393,118円
歳入歳出差引	9,709,071円
利用者数	50,715人

58年度末地方債現在高の状況



58年度末借入先の現在高

58年度借入債の事業別内訳



特別会計の
58年度末現在高

会計名	金額
簡易水道事業	34,382千円
休養地事業	120,000千円

足井営重類の賦半土費半の
58年度における主な事業の内訳

(単位：千円)

区 分	事 業 名	金 額	財 源 内 訳				備 考
			国(県) 支出金	起 債	そ の 他	一般財源	
総 務 費	生活安定資金貸付事業	10,000			10,000		
	行政無線整備事業	4,800				4,800	
	住宅資金貸付事業	2,000				2,000	
	コピー購入事業	1,230				1,230	
	越美北線及び国鉄バス乗車助成事業	1,180				1,180	
	水防倉庫改良事業	1,033				1,033	
民 生 費	忠霊塔周辺環境整備事業	2,000				2,000	
衛 生 費	火葬場改修事業	2,330				2,330	
農林水産業費	林業構造改善事業	56,104	38,532	6,000		11,572	照明施設(グラウンド)ほか
	山村振興対策事業	31,480	18,870	12,500		110	山開センター
	農村基盤整備事業	24,240	16,920	3,900	2,928	492	圃場整備(下大納)ほか
	林道改良事業	24,134	11,522	5,100		7,512	三面線ほか
	農業施設整備事業	19,234	4,080			15,154	
	造林事業	14,828	1,910			12,918	
	オーレン栽培事業補助	3,900	3,250			650	
	淡水魚放流事業	2,400				2,400	
商 工 費	鉱業振興資金貸付事業	75,000			75,000		
	商工振興資金貸付事業	20,000			20,000		
	桜植栽事業	4,200	2,100			2,100	
	遊歩道補修事業	3,600	1,200			2,400	
土 木 費	橋りょう新設改良事業	46,550	30,800	15,400		350	八千代橋
	道路新設改良事業	40,090	7,650	21,700		10,740	子馬巢線ほか
	河川整備事業	28,677		22,700		5,977	大谷川ほか
	県営事業負担金	24,647				24,647	県道等改良事業負担金
	除雪車整備事業	16,563	11,042	5,500		21	除雪ドーザー1台
教 育 費	学校施設補修事業	19,854	2,412			17,442	朝日中学校舎外壁塗装ほか
	教職員住宅購入事業	3,989				3,989	
諸 支 出 金	土地購入事業	13,031				13,031	桑島ほか

59年度上半期の財政運営状況

〈歳入〉

(単位：千円)

区 分	当初予算	補正額	現計予算	収入済額	収入率
1 村 税	246,749	2,343	249,092	114,202	45.8
2 地 方 譲 与 税	7,600	—	7,600	1,878	24.7
3 自動車取得税交付金	6,500	—	6,500	2,535	39.0
4 地 方 交 付 税	465,000	25,338	490,338	342,519	69.9
5 交通安全対策特別交付金	10	—	10	—	—
6 分担金及び負担金	3,880	—	3,880	1,675	43.2
7 使用料及び手数料	2,794	—	2,794	1,462	52.3
8 国 庫 支 出 金	55,342	4,000	59,342	3,149	5.3
9 県 支 出 金	165,878	25,508	191,386	1,182	0.6
10 財 産 収 入	37,191	—	37,191	16,700	44.9
11 寄 付 金	10	—	10	—	—
12 繰 入 金	40,000	—	40,000	—	—
13 繰 越 金	30,000	36,837	66,837	66,838	100.0
14 諸 収 入	90,246	800	91,046	1,700	1.9
15 村 債	130,000	23,600	153,600	—	—
計	1,281,200	118,426	1,399,626	553,840	39.6

〈歳出〉

(単位：千円)

区 分	当初予算	補正額	現計予算	支出済額	支出率
1 議 会 費	32,085	196	32,281	14,645	45.4
2 総 務 費	246,415	27,362	273,777	122,766	44.8
3 民 生 費	56,092	1,228	57,320	26,123	45.6
4 衛 生 費	24,349	228	24,577	9,620	39.1
5 労 働 費	1,152	—	1,152	61	5.3
6 農 林 水 産 業 費	302,951	25,707	328,658	50,986	15.5
7 商 工 費	86,457	44,337	130,794	80,663	61.7
8 土 木 費	171,857	8,100	179,957	60,325	33.5
9 消 防 費	29,465	—	29,465	14,661	49.8
10 教 育 費	128,929	5,564	134,493	62,067	46.1
11 災 害 復 旧 費	4,376	—	4,376	3,986	91.1
12 公 債 費	193,121	—	193,121	88,039	45.6
13 諸 支 出 金	10	6,300	6,310	6,300	99.8
14 予 備 費	3,941	△ 596	3,345	—	—
計	1,281,200	118,426	1,399,626	540,252	38.6

第11回
**連合音楽会などを開催
 合唱や合奏を披露**

第十一回連合音楽会と作品展が十一月一日(木)、大納地区村民体育館で開かれました。

村内の幼児・園児・児童・生徒がこの日のために、長い間かかって練習した合唱や合奏の成果を披露しました。

会場には、児童や生徒の図画や習字をはじめ、一般の方からも手しおにかけられた盆栽・菊・絵画など数多くの作品が展示され、多数の方が參觀されました。

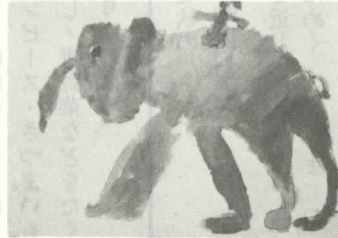
村学校教育研究会で児童や生徒の作品の中から入選作を選び、特別賞には次の五名が入りました。

図画の部 (敬称略)
 野尻 友也 (朝日小一年)

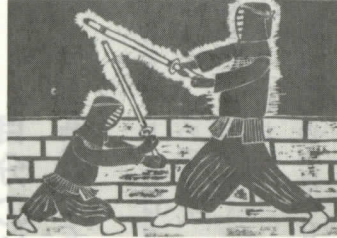
吉岡 由記 (大納小一年)

吉本 正和 (和泉中一年)

習字の部
 東 毅 (大納小三年)
 谷口 早苗 (和泉中一年)



「ぞうのげい」
 野尻友也くん



「剣道」
 吉本正和くん



東毅くん

松田さんらに
 感謝状を贈呈



感謝状を受ける松田さん

永年にわたり村広報紙の発行に尽くされた松田忠直さんと本村の学校教育ならびに社会教育の振興に貢献された長谷川忍さんに、村から感謝状と記念品が連合音楽会の席上贈られました。

秋季消防訓練を実施



川合地区での消防訓練

秋の火災予防運動実施
 11月26日～12月2日

『“あとで”より“いま”が大切火の始末』



人権擁護相談所を開設

■とき 12月6日(木) 午前10時～12時
 ■ところ 老人福祉センター和室

が贈られました。

秋季消防訓練が十一月十一日(日)、老人福祉センターで実施されました。

■第三分団 (敬称略)

この日は団員多数が参加して、川合地区で火災防御訓練を行い、続いてことし操法大会に出場した、次の団員に大野地区消防協会会長から表彰状

吉本征一郎 団員
 谷口 重信 団員
 尾崎 治和 団員
 長崎 吉久 団員
 長崎 伸夫 団員

保険料は納期内に納めましょう



たった一カ月の保険料が未納になってしまったため、年金が受けられなかった例は決して少なくありません。

国保だより

自分の健康は自分でつくろう

もっと食物繊維をとろう。

あなたは指定された期限内に国民年金の保険料を納めていますか。国民年金は、年をとったときあるいは生計中心者である夫と死別したときなどに、年金を支給して生活の安定をはかることを目的としています。

これらの年金は、保険料の納付の有無が重大なポイントになっています。冷やかな風吹き抜ける晩秋の畑に紅なるカブラ引き居ぬ

短歌コーナー

晴か雨かもみじ祭もほど近し
 占う如く小旗はためく
 湖 水
 まつえ

秋の野は千草の花のそれぞれに
 力の限り咲くぞ美し
 水 蓮

誰故に赤く咲くかよ萩の花
 恥じらい見せてつむきており
 とみ子

織交せて日毎に色増す山紅葉
 田舎ならではと心ゆくまで
 千代子

年金を確実に自分のものにするために指定されている納期限までには、必ず納めましょう。

野菜や穀物などに多い食物繊維は、体内に入っても消化されずそのまま排せつされてしまうので、栄養的にはまったく無価値とされてきました。ところが最近の研究では食物繊維が人間のからだに極めて大切なものであることがはっきりしてきました。

食物繊維は便通をよくする

区長会が発足

各区長の相互の親睦を図り円滑なる連絡協議により村民生活の福祉を増進し村勢の進展に貢献することを目的にこのたび区長会が発足し、次の方が役員に選ばれました。

- (敬称略)
- 会長 山内登子雄
 - 副会長 三島 勇
 - 監事 平野 治

市外局番の省略化を

11月28日午後2時から実施

ほか、発がん物質を体外に排出したり、血中コレステロールの上昇を抑える効果があります。

和泉村・大野市・勝山市の相互間通話の市外局番ダイヤルの省略化が、十一月二十八日(水)午後二時から実施されます。

人のうごき

赤ちゃん誕生

名前 保護者 続柄 住所

清藤 優 昇 長男 朝日



優くん

